

昌子の広場 第87報 小林昌子議会報告

和泉市無所属市民派議員

小林昌子

和泉市緑ヶ丘2-13-10

自宅 Tel(Fax) 0725-54-2626

事務所 Tel(Fax)0725-53-4451

Email masakokob@ybb.ne.jp

http://masako-hiroba.info/

ホームページもご覧下さい

yahoo の小林昌子で検索出来ます



4知事大戸川ダム反対を表明
市立病院の決算を見る
全国川のシンポジウム開催

目次

- ・4知事大戸川ダム反対を表明 P1
- ・市立病院の決算を見る P2-3
- ・全国川のシンポジウム開催 P4

4 府県知事大戸川ダム反対を表明。榎尾川ダムも凍結から中止へ

平成20年11月11日 火曜日 和泉 白 滝子 櫻井 (夕刊)

「地域のこと 地域で決める」



大戸川ダム 反対表明

4府県知事 国、見直し必至

淀川水系の大戸川ダムは、国土交通省近畿地方整備局が計画している大戸川ダム〔大津市〕について、同日ダムを「河川整備計画に位置づける必要はない」との意見を発表しました。

大戸川ダムについては淀川水系流域委員会がその効果は限定的で、河川整備計画に位置づけるのは適当でないとしてとりまとめた中間報告を無視して国が河川整備計画に強引に位置づけたもので、これに対し流域知事は地元負担が大きく治水効果の面からも優先度は低いとして一致して反対を表明したものです。川辺川ダム(熊本県相良村)に続く知事の反対表明で地方整備局の統廃合が問われる中、今後のダム行政にも大きな影響を与えるものと思

います。

<淀川水系 4 ダムの大阪府の負担> 単位億円

総事業費	大阪府の負担	
	総額	既負担
大戸川ダム	1080	170
天瀬再開発	430	70
川上ダム	1230	170
丹生ダム	未定	未定
総計	2740	410

上記のように大戸川ダムは総事業費 1080 億円で既に 600 億円が投じられています。大阪府も既に 88 億円を支出し、更に 82 億円の財政負担がかかる為 5 兆円もの借金を抱える大阪府としては容認できないとして橋下知事が反対したものです。

和泉市の榎尾川ダムは？

和泉市の榎尾川ダムは大阪府の財政再建計画の中で、財政面から当初予定の今年度本体着工は凍結されています。今まで来年度着工の前提でしたが、大阪府の来年度税収が 1000 億円も減少する見込みの中で来年度着工はあり得ないと思います。榎尾川ダムは総事業費 128 億円で既に 30 億円が投資されています。今後事業を続けるには更に 100 億円近くの財政負担となります(半分は国の補助)。このダムは大戸川ダムと違い、大阪府の直轄事業ですので橋下知事が決断すれば中止することは容易です。榎尾川ダムの治水効果は大戸川ダムと同様、極めて限定的で河川改修等の対応で治水対策は可能です。

平成19年度市立病院決算に見る(厳しい状況依然続く)
 <平成19年度市立病院決算>

(単位千円)

	平成19年度 決算	平成19年度 予算	平成18年度 決算	差		評価	
				対予算	対前年度	対予算	対前年度
医業収益	4,551,748	6,038,379	4,696,994	△ 1,486,631	△ 145,246	×	×
入院収益	3,005,831		3,045,972		△ 40,141		×
外来収益	1,194,483		1,313,853		△ 119,370		×
その他	351,434		337,169		14,265		○
医業外収益	357,852	371,369	282,831	△ 13,517	75,021	×	○
特別利益	11,127	11,127	0		11,127		
収益計	4,920,727	6,420,875	4,979,825	△ 1,500,148	△ 59,098	×	×
医業費用	6,313,902	7,018,334	6,047,171	△ 704,432	266,731	○	×
給与費	3,470,134		3,109,680		360,454		×
材料費	1,017,674		1,117,929		△ 100,255		○
経費	1,277,710		1,278,398		△ 688		×
その他	548,384		541,164		7,220		×
医業外費用	187,057	131,903	217,717	55,154	△ 30,660	×	○
特別損失	14,202	16,202	2,095	△ 2,000	12,107	×	×
費用計	6,515,161	7,166,439	6,266,983	△ 651,278	248,178	×	×
損益	△ 1,594,434	△ 745,564	△ 1,287,158	△ 848,870	△ 307,276	×	×
当年度末累積欠損額	6,737,781	5,888,911	5,143,347	1,594,434	1,594,434	×	×
当年度末累積不良債務額	1,995,087		390,620		1,604,467		×

上記決算を見ると、医業収益が前年度より低下し、当初予算から15億円も未達となっています。収益改善が進まない最大要因の患者数の減少に歯止めがかかっていません。最終の損益は16億円もの赤字となり、一般会計からの繰入8.3億円を医業収益に含んだ後の赤字であり、実質的な赤字は24億円を超えるレベルです。又一時的な借り入れに依存しなければいけない不良債務が一気に20億円に増加し、資金不足率は43.6%となり経営健全化基準の20%を大幅に上回る結果となり、病院経営上厳しい状況にあります。

<更にこれを現在推進中の健全化計画と比較すると>

	健全化計画 (平成20年度)	H20.9月実績	差	評価	健全化計画 (H24最終年度)
入院単価	38,542	40,630	2,088	○	39,606
入院患者数/日	250	208	-42	×	265
外来単価	8,136	8,058	-78	○	7,892
外来患者数/日	693	606	-87	×	786
医師数	45	42	-3	×	45
技師・看護師数	254	246	-8	○	214
経常収支比率(*)	84.7	75.5	-9.2	×	100.6
職員給与比率(*)	65.0	76.1	11.1	×	51.9
病床利用率	76.5	63.6	-12.9	×	81.0

(*)平成19年度決算の値

公立病院として存続するためのH24年度を最終年度として策定され、実施中の健全化計画の20年度とH20.9月実績を比較したのが上の表です。各指標とも大幅な未達の状況で、健全化計画は絵に描いた餅になっています。特に医業収益に対する職員の給与比率は計画を10%以下も下回っており、看護師を中心とする給与の適正化が進んでいない事を表しています。

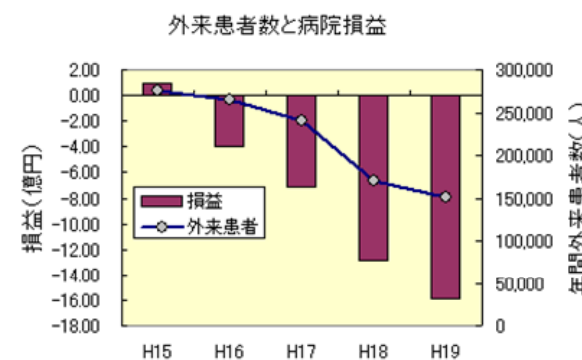


どうする新人医師の確保

	H20年度		H19年度	
	募集	マッチング	募集	マッチング
和泉市立病院	不参加		6	0
府中病院	10	10	10	10
泉大津市立病院	4	4	4	2
岸和田市立病院	5	4	5	5
堺市立病院	8	8	8	8
貝塚市立病院	2	2	不参加	

上の表は医師免許を得て臨床研修を受けようとする者と、臨床研修を行う病院の研修プログラムとを研修希望者及び研修病院の希望を踏まえて、組み合わせを決定するシステムで、このマッチング結果は新しい医師にとって病院が如何に魅力的かを示す一つの指標といえます。和泉市は今年この制度に参加しませんでした。大阪府の中で厚生労働大臣が指定した臨床研修病院に指定した病院で参加しないのは和泉市立病院だけです。新しい医師の確保を諦めたと思われません。

市民病院の実態は



平成16年度から病院の損益は赤字に転落し、その赤字は毎年増加の一途です。当然の事ですが外来患者数の減少が病院の収益に直接結びついています。外来患者数は平成15年度をピークに減少に転じていますが、医師の数が減少しているのとはほぼ同じ動きをしています。

他人事でない銚子市市立病院の破綻



銚子市市立総合病院

どのような状況で閉鎖に追い込まれたのか(和泉市の病院と比較して)

<H19年度比較>

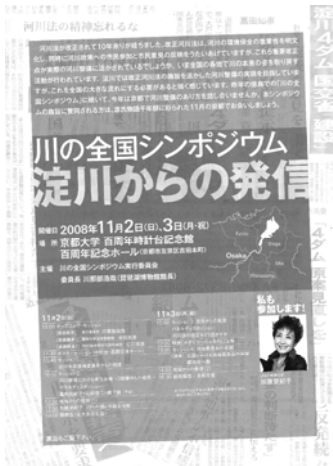
	銚子市	和泉市
医師数	13	42
患者数/日	516	820
病床利用率		
総収益(百万円)	3,327	4,920
総費用(百万円)	3,567	6,515
損益(百万円)	△ 240	△ 1,595
繰入金(百万円)	1,500	830
累計繰入金(億円)	199	197
累積債務(百万円)	1,242	6,731
一時借入金(億円)	0	25
職員給与比率(%)	80.7	76.1
市の財政状況		
標準財政規模(億円)	146	299
実質収支比率(%)	3.3	0.5
実質公債比率(%)	122	6.9
将来負担比率(%)	151.7	67.9
地方債残高(億円)	312	526

銚子市立総合病院はH16年の臨床研修制度の影響で35~40人で推移していた医師がH20年4月には13人まで激減し、それに伴い患者数が減少し一気に経営が悪化した。経営診断で従来の10億以上の繰入以外に更に7億以上の経営支援が必要であることが判明し、市長が病院の閉鎖を決めた。心労で病院長の退職なども再建への障害となったものと思われる。更に診療過誤で1億もの損害賠償を負担したのも重荷になった。

閉鎖に追い込まれた銚子の病院と和泉市の病院を比較したのが上表です。確かに医師数が大幅に減少、損益が悪化し過去からの一般会計からの繰入が100億円を超しているが、損失のレベルは和泉市に比べ少なく、一時借入金も無く破綻に至るレベルとは考えられません。しかし職員給与比率が80%を超え、現状の公立公営の経営形態では今後改善する見込が立たないと市長が判断したものと思います。実質公債比率や将来負担比率は和泉市に比べ劣位にありますが、市の言うように転落するようなレベルとは到底思われません。市民からは今回の廃止に対しそこまでしなくともとの強い非難があり、市長のリコール運動も起こされています。和泉市にとっても他人事とは思われません。公立病院の存続は市民の願いです。しかしながら経営状況や医師不足が直ぐには解決できないのであれば、近隣自治体の病院を集約した拠点病院(マグネットホスピタル)の設置を検討するのも課題の一つです。それには自治体の利害を越えて取り組む必要があります。

川の全国シンポジウム「淀川からの発信」を開催

11月2日、3日京都で開かれた川の全国シンポジウムに実行委員として参画しました。ゲストにはUNEP 親善大使で歌手の加藤登紀子さん、山田京都府知事、嘉田滋賀県知事など多彩な顔ぶれが京都



司会進行役を担当



大学キャンパスに集いました。
以下は京都宣言です。

<京都宣言>
淀川は川ではなく水路になっています
琵琶湖はもはや死に瀕しています
淀川と琵琶湖の生命(いのち)が危ういのです
川に育まれる生き物たちの生命(いのち)が危ういのです
私たちの生命が危ういのです
この状況は、全国の川や湖でも同じです

このような川と湖を子や孫に引き継ぐことはできません
これまでの「川づくり」を根本的に変えなければなりません
もう行政にだけ任せてはいけません
任せてきた結果が現状なのですから

私たちは
川や湖を傷めつけてきた責任を痛感し
一人一人が考え方や生き方を変えることによって
川と湖の再生に取り組みます

2008年11月3日
川の全国シンポジウムー淀川からの発信 -

昌子の日記

- 11/1 川の全国シンポジウム進行打合せ
- 11/2,3 川の全国シンポジウム

- 11/4 議会改革検討会議、決算委員会勉強会
- 11/5 泉北環境施設組合第3回定例会
- 11/6 和泉中央駅会報配布、ごみ学習会、川の全国シンポジウム報告書作成会議
- 11/7 淀川水系のダムを考える府民の会記者会見、大阪府河川室との話し合い
- 11/8 福祉エキスポ
- 11/10 決算委員会(委員長)、ダム定例会
- 11/11 決算委員会、川の全国シンポジウム反省会
- 11/12 決算委員会、市政相談会
- 11/13 決算委員会
- 11/14 和泉中央駅会報配布、決算委員会、泉北環境へ
- 11/15 久保惣美術館、先端医療についての勉強会
- 11/17 和泉府中駅会報配布、ソロプチ地区大会、泉北環境へ
- 11/18 和泉中央駅会報配布、泉北環境施設組合決算委員会、和泉市建設事業再評価委員会傍聴
- 11/19 事務所運営委員会
- 11/20,21 富山県エコタウン・広域リサイクルセンター視察
- 11/22 緑ヶ丘フェスティバル、ソロプチ奉仕委員会活動(ザ・シーズンにて)、ダム定例会
- 11/23 琵琶湖、淀川の流域自治を考えるシンポジウム
- 11/25 光明池駅会報配布、故郷の家、議運、議会改革検討会議
- 11/26 北信太山駅会報配布、住民監査請求意見陳述、河川行政についての話し合い、市政相談会
- 11/27 信太山駅会報配布、ソロプチ定例会、病院経営監視委員会傍聴
- 11/28 和泉中央駅会報配布、泉州東部農用地について
- 11/30 手をつなぐ親の会勉強会、和泉丘陵ヒューマンフェア

<事務所行事> いずれも小林昌子事務所で

連絡先 自宅 TEL 0725-54-2626
事務所 TEL 0725-53-4451
(事務所 緑ヶ丘1-3-15)

万葉講座(場所 緑ヶ丘自治会館にて)

- ・講師 大高勇さん(犬養万葉顕彰会会員)
- ・会費 1,300円(3か月分) 14-16時
- ・69回 12/13 万葉の動物たち(鳥類)
- <途中からの参加でも十分お楽しみ頂けます>

ちぎり絵

- ・講師 西原志満子さん
- ・1月14日(水)13時~16時
- ・材料費実費 参加費無料

パソコン講座(参加費無料)

- ・第2、第4週の火曜、木曜
- いずれも10時~12時と14時~16時

市政相談会

- ・第2、4水曜日 20:00~21:30